

かいほつ

42号

 題字 緑丘小
 5年 畔柳幹宏


三島小学会会 和太鼓「どんどどん」

岡崎市現職教育委員会 特殊教育部会

平成12年3月1日発行


「おはようございます」

美合小学校長

兼平義文

朝、校長室の前を二百名ほどの児童が通り過ぎて行きます。通路に向かって登校の様子を見てみると、私とあいさつをして昇降口に向かいます。大声で「おはようございます。」と言う子、言いながら頭を下げる子、立ち止まって帽子を脱いで言う子、頭だけを下げる子、笑顔を向ける子、まさに千差万別です。言葉に障害のある子は、握手をして行きます。それぞれの家庭で育ち、それぞれの個性を持つてのあいさつです。この一日の始まりの朝の出会いが、私にとって一番の楽しみになっています。あいさつで、今も鮮明に思い出すことがあります。

十五年前の好景気のときです。特殊学級の担任の事業所見学会で市内の鉄工所に出かけました。説明してくださった責任者の方は「あいさつができる子、初歩でいいからパソコンができる子（さわれるの意味）この二点が求人条件です。」と言われました。

さらに、なかば笑いながら「朝、来たら真っ先に、きのうの失敗をおこつてやろうと待っているときに、ドアを開けるなり大きな声で、しかもくつたくなかない笑顔で『〇〇さん、おはようございます。』と、面と向かってまじめに言われると、叱るタイミングをなくしてしまつて困つてしまう。」とも言われました。

ずいぶん昔の話を持ち出しましたが、その方はきっと今も同じ思いでおられるのではないかと思う今日このごろです。

特殊学級進路指導委員会

事業所見学会

職場見学・講演・ポウリング大会

二月一日、中学校特殊学級進路指導委員会主催の『事業所見学会』が、生徒・保護者・教師百十八名の参加のもとで行われました。

今回は、事業所を十一か所を広げ、卒業生が働いている所を中心に見学に行きました。また、昨年により、ポウリング大会を実施し、交流を通して、余暇の過ごし方を考える場を作ることができました。

午前中、保護者は講演会、生徒はポウリング大会に参加しました。講演は『自立と家庭の役割』と題して、九鬼憲子様にお話いただきました。『親の一念、岩をも通す』と、講演中のお言葉どおり、子を思う親の深い愛情、何事にも前向きに取り組まれる姿勢に、大きな感銘を受けました。

午後の事業所見学会では、学校ごとに卒業生が働いている姿を間近に見たことで、生徒たちの勤労に対する意識を高めることができました。

生徒の声

本番が良かったポウリング大会

美川中 鈴木 拓也

九鬼さん、ポウリング大会にさそってくれてありがとうございませした。一ゲームしかできなかったけど、とっても楽しかったです。

とっても、結果が良かったです。練習で、ちよつとしかたおれなかつたけど、本番になつて、上手に投げられて、たくさんたおすことができて良かったです。ぼくは、ストライクは出なかつたけど、スコアがとても良かったです。うれしかったです。ほんとうにありがとうございました。

事業所見学会を終えて

甲山中 石田 悠介

ぼくたちは、中町の富岡屋商店さんで、こんにやくを作るところを見ました。こんにやくいもが粉になつて、こんにやくになつていくところや、袋づめを機械でするところなど、とてもおもしろかったです。また料理をするときに、肉の横に糸こんにやくを入れてはいけないということを教わりました。それはこんにやくの成分が肉をかたくしてしまうからです。とても勉強になりました。

保護者の声

講演会を聞いて

藤原 善子

「九鬼様」のお名前は、以前よりお聞きしていましたが、子供の年齢差もあり、直接お話を伺う機会がありませんでしたので、講演会を心待ちにしておりました。

飾り気もなく親しみやすい口調で、淡々と話されてみえる裏には大変なご苦労がうかがえ、私の今までと重なり、目頭が熱くなりました。私も親として何ができたかと思ふと、九鬼様の行動力のすごさには頭が下がりますと同時に、少しでも見習わねばと思いました。

渡辺校長先生のお話も、私ども親の励みになりました。



特殊学級担任として、夢中で歩いた十年間を振り返ってみると、共に過ごした子供たち、先生方、お母さん方の顔が浮かんでまいります。過ぎし日を思い出して、皆様方とのかけがえのない出会いに感謝いたします。

平成二年四月、井田小学校長加藤憲尚先生のご指導を受けて安藤先生、堀尾先生の夢と希望に満ちた若いエネルギーを支えられて、名ばかりの主任としてスタートしました。

当時の現職教育誌、「井田の塔」を見ると、なつかしい子供たちの様々な活動が目に入り、私もハツケヨーイと、土俵上で体ごと全力でとつた相撲が思い出され、勇気がわいてきます。「山の交流会―相撲巡業―」「お米を作ろう」など、手探りで真剣に取り組んだ生活単元学習の「こまこま」一人一人の子供の自立を願って、目的を持って行動するために必要な事柄を、総合的に楽しく学習することをねらいとしたものです。

子供から学んだ
勇気と自信

緑丘小 玉置 久恵

実態を参観されたお母さんが、「あつ拾える。すごい。」と子供を抱き締められたとき、胸が熱くなると同時に、教育の原点に触れる思いがしました。

子供の持つ能力を見つけて出し、できることから始めて、喜びと自信をつけさせること。できないからやらせないのではなく、生活能力も学習能力も育たない。彼を通して学んだ実感が私の自信となりました。今は四年生M男君が自信を持って、笑顔であいさつできる人に成長することを願って、残された教師生活を大切にしています。

聴こえと言葉の不自由な方の教育相談について

愛知県立岡崎聾学校長

市橋 詮司

岡崎聾学校には、幼稚部（三歳〜五歳）、小学部、中学部、高等部（普通科）合わせて百二十名の幼児児童生徒が元気に学んでいます。聴覚に障害のある子供たちですが、軽い難聴から高度の難聴までさまざまです。

幼稚部に就学する以前のゼロ歳から二歳までの乳幼児の教育相談室もあり、母子で通級して養育の仕方や聴覚の活用や言葉の発達のさせ方の学習をしてもらっています。

補聴器や人工内耳の活用を図り発音や読話の力をつけたり、コミュニケーションの方法を学んだり豊かな言語づくりをしています。

その上で、一般の小学校、中学校、高校と同等の学力をつけるように指導しています。高等部三年を卒業時の進路は、約半数が大学・短大等への進学、約半数が就職です。就職は、自動車、金融などの優良企業がほとんどです。

小学部からは、一般の学校と同

じ教科書を使った対応学習をしています。平成十一・十二年度は、県教育委員会から「総合的な学習」の研究委嘱を受け、新しい教育の在り方を実践研究しています。特に国語、数学、英語などは個に応じた指導を徹底し、基礎学力をつけることを重視しています。また、コンピュータ活用、情報処理能力の向上にも力を入れています。

学校のキャッチフレーズは「温かい岡ろう、輝く岡ろう、チャレンジの岡ろう」です。これからの社会を生き抜く力を備えた、プラス思考で、社会から期待され、社会の期待に応えるチャレンジャーになってほしいと願っています。

幼稚部から高等部までの各々が相談体制をとっています。聴こえや言葉のこと、学習のことなど気軽にご連絡ください。

☎0564-4512830



岡崎小
山本久美子

地域の自然と人とのふれあい活動の一つとして、昨年は、ほうき草を育て、ほうき作りに挑戦した。今年も、身近にある「すすき」でほうきを作ってみようという子供たちの意見を取り入れ、すすきでほうき作りが実現した。

ほうき作り名人のSさんのご指導で、やわらかく、とても掃きやすいほうきができあがり、子供たちは跳びはねて喜んだ。

これからも、子供たちが、自分

私の教室日記

「六年二組 三十五人」

六名小 交流学級担任

小原 佳子

Y君と交流を始めたころ、転校生ということもあり、子供たちとあまりなじめないでいた。しかし、理科の実験や体育の班活動などを通して、周りの子がY君を助けたり、みんなで話し合ったりするうちにY君との距離が縮まっていくのを感じた。その中でも、修学旅行の班決め

の地域をもっと知ろうという気持ちをもち、地域の中で喜びをもって生活していけるよう、地域の人たちが自然とのふれあいを学習の場に広げていけたらと考えている。



がY君に大きな影響を与えた。

Y君と班が一緒になったK君は学級の中ではおとなしいが、とても顔見がよく、二人はとても仲良くなった。それからY君は、学級の中で居場所を見つけ、教室でも冗談を言うまでに溶け込めるようになった。今では、Y君がいないと、「先生、Y君は？」と聞いてくる。Y君がもうすっかり学級の一員となっている。三十四人に一人が加わったのではなく、三十五人なのである。

がんばってます 13

マグフーズ六ツ美店

近藤 真由美さん

私は、附属養護学校を卒業してマグフーズ六ツ美店に勤めています。

駐車場のそうじや食品ケースをふく仕事、きゅうりを三本ずつふくろに入れる仕事、ハンバーグやちくわを箱から出す仕事などをしていきます。外のそうじは寒いのでつらいです。社長の奥さんに教えていただいています。一日も休まないで働いています。

仕事が終わってからは、日本舞踊やピアノを習ったり、友達と交換ノートをしたり、犬の散歩に行ったりして楽しんでいきます。これからもがんばろうと思います。



このころ思うこと

安藤 恒海

思い出すこと

甲山中学校を最後に第二の人生に入り、もうじき二年が過ぎようとしています。今回、ここにスペースをいただきました。現況のご報告と思いい出など、書いてみたいと思います。

職場では頼もしいスタッフの先生たちと不登校をしている子たちのケアに心を配り、家ではインターネットの井戸端会議。〃なりたてじじい〃と自ら称して十数人のおば(あ)さんたちとおしゃべりを楽しんでいます。

ハートピアまではバイクで片道四十分かかります。じじい暴走族です。くせになって昨年は四泊五日かけて知多半島を一周しました。これは知多四国霊場巡りというのですが、スタンブラーと説明しています。今年はずりカメラを持って行くかと思っています。

二十数年前、何も分からぬ私が葵中で特殊学級の担任になりました。手探りのスタートでした。学級を作るには子供がいなくてはいけませんので、入学式の前後、校務の先生と家庭訪問をして入級をお願いしました。明日からは中学生という日にいきなり、特殊学級の生徒になってくださいというのも唐突な話で、びっくりされましたが、受けていただき、学級が成立しました。

何を、どのような形態で教えるのか、とまどうことばかりでしたが、コンビの小椋先生やスタッフの先生たちのご協力で、何とか形をなしていきました。作業学習での野菜作り、学級の活動として行った社会見学などが、なつかしい思い出です。



このときお手伝いしたFBCの花壇作りが次の根石小では私のメインの仕事となり、子供も花も育てる喜び、咲かす喜びを味わうことができました。

教室に来る子たちは、とても素直で明るい子たちです。生涯ヒラで、特殊の教員を通すことができたのも、子供たちに溺れることができたからだと思います。

子供たちのこと

今も、ぼくの家の下を先生がバイクで通ったからと電話してくれたり、苗字がかわった、子供が生まれたなどうれしい賀状が届いたり、また、家族ぐるみのおつきあいをしている方もあります。

退職しても、まだ指導員として、先生と呼ばれていいます。不登校の生徒のことで、学校に伺います。

思いこと
退職しても、まだ指導員として、先生と呼ばれていいます。不登校の生徒のことで、学校に伺います。

いすることも多い昨今です。担任の先生と協力して、とじこもりがちの子供の心に灯をともし、明るくはばたけるよう大空へいざなっていきたいと思っています。

このごろの社会のできごとや、来所してくる子たちの様子を見ると、親も学校もわれわれも、本当に一致団結してがんばらなければならぬと思う日々です。

卒業

三島小 大原 寿洋

楽しかったパーベキュー会

六北中 藤原 真弓

わかばの合宿や運動会、やきいも、六年生の修学旅行が楽しかったです。中学へ行ったら、友達に会えるし、せい服も着ます。中学校はどんなところが楽しみです。がんばります。

大原 みや子

不安と心配でいっぱいだった小学校生活も、本人の努力だけではなく、たくさんの先生や友達に支えられ楽しく過ごすことができました。特に、クラスの一員として自然に迎え入れてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後チャレンジ精神で一歩ずつ歩んでいってほしいです。



明日に向かって
藤原 貴代美

あつという間の三年間で、真弓なりに成長もしました。たくさんさんの体験もさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。これから、明日に向かって、がんばっていききたいです。

表彰

- ・第二十一回愛知県特殊教育振興大会
特殊教育推進連盟表彰
矢作北中三年 山本倫生
- ・第十九回東海日日新聞社学級新聞コンクール
中学校の部 特別賞 豊橋市教育長賞
美川中六組
- ・岡崎市読書感想画コンクール
小学校の部 東海日日新聞社奨励賞 広幡小六年五・六組
- ・岡崎市教育委員会賞
岡崎小六年 神原威久
- ・コスモス畑の写生コンクール金賞 六北小一年 小宮里菜
- ・障害児童・生徒等絵画展 佳作 広幡小二年 広沢直紀